

平成19年12月18日

京情協 地域情報化委員会（19年度 第5回） 議事録

開催日時：平成19年12月18日（火） 16:00～17:10

開催場所：京都コンピュータ学院駅前校 新館 4階 会議室

参加者：和田、藤関、古川、直江、桶谷、福本、桧山、中川、桂田

配布資料：地域情報化委員会(第5回)議題、添付資料①～資料⑤

議事：

1. 今期の活動計画に対する進捗状況

1) リクルートにおける大学との連携（資料①～③）

- ・活動項目毎に正副委員長が以下の報告を行った。

[1] 学生向け業界解説資料（ガイドブック）の作成・配布について（担当：桧山氏）：

⇒現在、他団体の既存資料を確認中。宮城県の冊子・A3パンフレットは入手済み。長野県からも雇用ガイドブックを入手予定。別途、和田氏から ANIA に依頼して頂くことで、既存資料の調査は完了することとする。今後、調査結果並びに大学ヒアリング結果を元に、ガイドブック作成の可否を判断する予定。

[2] 近隣大学との採用に関する長期的な連携確立を目指した広報活動（担当：福本氏）：

⇒4校訪問・ヒアリングし、現実的な話を聴く事が出来た。訪問校は結果的に大学ランク・レベルが分散され、レベルにより温度差を感じた。詳細は次回報告。今後、大学との連携をどう行っていくかを検討する。

[3] 会員企業向け新卒採用支援セミナー開催について（担当：中川、桧山氏）：

⇒11/27に実施し、24名の方に参加して頂いた。アンケート結果にもある通り、参考になる内容だったのではないと思われる。来期も行いたい。年2回の開催も検討する。

[4] 京情協主催の合同企業説明会の開催（KVBCとの共催も検討）について（担当：中川）：

⇒KVBCとの共催も含めて実施検討中。KVBCでは合同企業説明会を年3回（5、7、10月）行う予定とのこと。KVBC会員企業は5万円/回だが、非会員は8万円/回ほどになるのではないかと。費用対効果を考えるとどれだけの企業が参加するかは不明。

[5] 近隣の大学の学内企業説明会に京情協としてエントリーする件について（担当：中川）：

⇒大学にヒアリングした結果、大学によっては「まとめてエントリーされるとどんな企業が参加されるか判らないので困る」との事であった。ヒアリング結果をまとめた後に検討。

[6] 諸々の採用に関する情報の会員企業への発信について（担当：桂田）：

⇒採用耳より情報（1回目）を京情協HPに掲載。今後継続して、1～2ヶ月に1度のタイミングで発信していく。

2) 賀詞交歓の新春セミナー（資料④）

- ・新春セミナーは1/17(木)16:30～18:00にKCG6階ホールにて開催する旨、決定。挨拶は京情協会長の長谷川氏。司会は中川。受付に桂田も入る。看板をどうするか、セミナー後に講師の方を賀詞交換会場に誘導する仕方、事前準備として何が必要かを今後検討する。講師から参加者に配布する資料がないため、それに代わる補助的なパンフレットなどがな

いか和田氏が確認する。

3) IT コンソーシアム京都関係（中川から報告）

- ・先日、地デジ部会（第2回目）が開かれたが、中川は所用により欠席。京都駅にてスポットワンセグ放送の実証実験を行ったとの事。

4) 京都自律移動支援プロジェクト実行委員会関係（資料⑤）（中川から報告）

- ・11/27 に委員会が開かれ、採用支援セミナーのため欠席した中川の代わりに島津エス・デー山本氏が出席。出席者は東大の坂村健教授をはじめ錚々たるメンバーで活発な意見交換がなされたとの事であった。次回は2、3月の予定。

2. 来期の活動計画について

- ・1/9の事業推進委員会にて来期の活動計画を報告予定。それまでに今期の活動結果を元に来期活動計画を検討する。アイデアがあれば出来れば年内に中川にまで連絡欲しい旨、各委員に依頼した。
- ・基本的には今期の活動を継承、発展させていく。但し、IT コンソーシアムについては、地デジを除く3部会は事実上活動休止状態のため、来期の活動計画に織り込むか検討要。
- ・京都自律移動支援プロジェクトは活動項目として独立させる。
- ・先日の事業推進委員会にて、社団法人として、会員企業向けの活動だけでなく外向きに発信・活動していかななくてはいけないのではないかとの話があった。また、各委員会がバラバラに活動するのではなく連携したり、せめて対外的に行うセミナーだけでも京情協として共通のテーマを扱うべきではないかとの意見もあった。地域情報化委員会としても各委員会とより連携していきたい。また、対外活動については、地域情報化活動を行っている他団体の活動内容を確認し、今後の活動のヒントがないか探してみる。
- ・藤関氏より、来期活動案の一つとして、KVBC 交流部会で検討されている京都観光と IT とのコラボの話があった。協力可能ならば連携してみてもどうかとの提案であった。まずは藤関氏が KVBC 代表幹事に相談の上、その結果を報告して頂く。

3. その他（会員増強について）

- ・活性化をはかるために、会員を増やしていきたい。ビーネットの松本氏が来年より委員会に参加予定。AIVIC の矢津田氏にも声をかけている。他に参加可能な方がいれば声をぜひ掛けて欲しい旨、中川より依頼した。

以上